

草の根無償資金協力（APJ 日本人ペルー移住百周年記念病院医療機材整備計画）
供与式大使挨拶

【2018年5月18日（金），17：00～，於：APJ 百周年記念病院】

ご列席の皆様

本日，日本人ペルー百周年記念病院に提供した医療機材の供与式が盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。併せて草の根無償資金協力の供与式に皆様にご参加いただきありがとうございます。

百周年記念病院はペルー有数の最先端技術を駆使し，一般外来から救急まで幅広い患者治療を行う総合病院として，ペルー国内でも広く認知されています。また高い技術力を持つ公的機関として比較的安価に治療を行っており，患者は全国から集まり，ペルー国民にとってもなくてはならない医療機関となっています。

今回日本が提供したものは，神経外科において，日常的の，また緊急時の施術をより臨機に，正確性をもって行うための手術用器材一式です。整備した機材を使用して，一人でも多くのペルー国民の命が救われ，日々の生活を豊かに過ごすことが出来ることを期待します。

このプロジェクトは，一昨年安倍総理大臣がペルーを訪問した際に皆様に約束していたものです。プロジェクト完了に向けて尽力いただいた皆様に感謝申し上げますと共に，百周年記念病院の活動を日々支えている医師，看護師，従業員様，ペルー日系人協会および関係者の皆様のご尽力に敬意を表します。

今年は，日本のペルーに対する ODA が 60 周年を，草の根無償資金協力が 30 周年を，それぞれ迎えますが，日本は今後もペルーを支援して参ります。さらに来年は日ペルー友好 120 周年を迎えます。今後記念事業をはじめとして，皆様と一緒に盛り上げていきたいと思います。百周年記念病院の益々の発展と，日・ペルー関係の更なる発展を祈念して，私の挨拶といたします。

ありがとうございました。